

令和5年度学校評価（まとめ） 主に第1回との比較		教職員			生徒			保護者			コメント
		令和5年度 第2回		傾向	令和5年度 第2回		傾向	令和5年度 第2回		傾向	
		肯定率	否定率		肯定率	否定率		肯定率	否定率		
質問事項		肯定率	否定率	傾向	肯定率	否定率	傾向	肯定率	否定率	傾向	
生徒について	学校に来るのが楽しいと感じていると思われませんか。	97%	3%	↓	86%	12%	→	89%	10%	→	昨年度より2ポイント減少しているが、学校に来るのが楽しいと感じていない生徒が約12%いることを認識したい。
	授業がよく分かっていると思われませんか。	58%	39%	→	80%	19%	→	61%	36%	↓	教員、保護者は、授業を分かっていると感じている。改善を考えていく必要がある。生徒は、教職員、保護者ほど深刻に考えていない。
	仲のよい人から頼まれても正しくないことは断わることができると思われませんか。	71%	26%	↑	90%	7%	→	86%	12%	↓	生徒、保護者は正しくないことは断れると思っているが、教職員はそうでもないと考えている。
	今の自分が好きだと感じていると思われませんか。	81%	13%	→	63%	30%	↑	83%	14%	→	教職員・保護者は、生徒がある程度自己肯定感を持ち生活していると考えているが、自己肯定感の低い生徒が3割いる。生徒の肯定率は決して高くないが、3%の上昇が見られた。
	いつも仲よくしていると思われませんか。	90%	6%	↓	94%	3%	↑	91%	6%	→	
	人の役に立っていると感じていると思われませんか。	90%	6%	↑	56%	37%	→	78%	15%	→	自己有用感、教師の評価は上昇傾向であるが、生徒、保護者は十分とはいえない。今後も様々な活動を通して、人の役に立つ経験をさせていく必要がある。
	決めたことについて、進んで取り組んでいると思われませんか。	90%	6%	↑	87%	10%	→	84%	10%	→	
	人前で自分の考えをしっかりと話すことができていると思われませんか。	65%	32%	↑	68%	30%	→	68%	26%	→	全体的に肯定率が低い。生徒の表現力について、教職員の評価は59%→65%と上昇はしている。
	人が困っているとき、相手を助けることができていると思われませんか。	97%	0%	↑	89%	7%	→	89%	7%	→	全体的に肯定率が高く、生徒は学級や友人への協力性があると評価できる。
	自分の将来について考え、努力できていると思われませんか。	55%	42%	→	73%	23%	↑	59%	38%	↑	全体的に肯定率が低い。しかし、生徒の肯定率は令和4年度67%→第1回68%→第2回73%と上昇が見られている。
	元気よく、気持ちのよい挨拶ができていますか。	52%	48%	↓	83%	16%	↑	77%	21%	↑	生徒・保護者の肯定率は3ポイントの上昇が見られるが、教職員の肯定率は17ポイント下降している。対策を検討する必要がある。
	清掃活動にまじめに取り組んでいますか。	90%	6%	↑	93%	6%	→	87%	8%	↑	全体的に肯定率が高い。環境委員会の呼び掛け等の取組に効果が見られている。
	タブレット端末を活用した授業に意欲的に取り組んでいる。				91%	6%	→				
	学校の取組	一人一人が分かる喜び、共に学ぶ喜びを実感できる授業を行っていると思いませんか。	94%	6%	→	-	-		82%	10%	→
タブレット端末を有効活用して、生徒主体の授業を実践し、授業改善に生かしていると思いませんか。		84%	13%	→	-	-		80%	11%	↑	教職員第1回82%→第2回84%、保護者第1回77%→第2回80%と上昇している。
生徒の学力や体力の状況を把握し、それらの充実に向け計画的に指導を行っていると思いませんか。		87%	10%	↓	-	-		80%	9%	↓	肯定率が低いわけではないが、教職員の肯定率が第1回から10%、保護者の肯定率は3%減少している。
人権・同和教育の視点に立ち、いじめや差別を許さない意識や態度を育てていると思いませんか。		94%	6%	↓	-	-		83%	6%	→	肯定率が低いわけではないが、教職員の肯定率が第1回から3%減少している。
「学校の決まり」など生徒指導体制の見直しを行い、生徒の実態に応じた適切な指導を行っていると思いませんか。		100%	0%	→	-	-		87%	6%	→	
将来に夢をもち、自分の進路や生き方について考える生徒を育てていると思いませんか。		90%	6%	→	-	-		81%	9%	→	
生徒に交通安全やけが等の防止について適切な指導を行うとともに、安全な環境づくりに努めていると思いませんか。		100%	0%	↑	-	-		91%	4%	→	
個々の健康状態を確認するとともに、環境衛生の維持・改善を行い、生徒の健康保持・増進に努めていると思いませんか。		97%	3%	→	-	-		93%	3%	↑	
「換気の確保」や手指消毒等の指導等状況に応じた感染症対策を適切に行っていると思いませんか。		100%	0%	→	-	-		91%	3%	→	
特別支援教育の視点を持って取り組み、個に応じた配慮や指導を適切に行っていると思いませんか。		84%	16%	↓	-	-		81%	4%	↓	教職員第1回90%→第2回84%、保護者第1回84%→第2回81%と下降している。
働き方改革に積極的に取り組む等、管理職や中堅職員を中心とした組織的な運営を行っていると思いませんか。		97%	3%	↓	-	-		81%	3%	↑	教職員の肯定率が下降してきているが、第1回100%→97%の下降である。働き方改革や業務改善に向けた取り組みについては今後も進めていく。
新型コロナウイルス感染症対策や相談事案等、管理職や学年主任等を中心として組織的に対応を行っていると思いませんか。											
授業づくりや教育課題への対応のため、積極的に研修に取り組んでいると思いませんか。		87%	13%	↑	-	-		80%	3%	↑	教職員は令和3年度77%→94%、保護者は令和3年度69%→82%と昨年度との比較では大きく肯定率が上昇した。
教育活動の充実に向けて地域や保護者と連携・協力していると思いませんか。		90%	6%	↑	-	-		86%	4%	→	教職員は83%→90%と大きく肯定率が上昇した。
ホームページやメール等により積極的に情報を発信していると思いませんか。		87%	13%	↓	-	-		84%	12%	↓	ホームページやメール等の活用の充実を図る必要がある。
板書の工夫等の言語活動の整備及び展掲示の充実等の環境整備に努めていると思いませんか。		97%	3%	↑	-	-		80%	4%	↓	教職員の肯定率が上昇している。タブレットの活用の充実を図る一方で、板書や展掲示の充実も図ることができている。
中1ギャップの解消につなげるために関係校で連携し、生徒の学校生活に対する不安感の軽減を図っていると思いませんか。	87%	13%	↓	-	-		71%	10%	↓	関係諸機関との連携は、保護者からはなかなか見えにくいいため、保護者の肯定率が低いものとする。	
教育の質の向上のために関係校で連携し、学校間の系統性を重視した学習指導を行っていると思いませんか。	90%	6%	↑				70%	7%	→	小中連携の取り組みが活発に行えた。	
関係校で連携し、生徒に対する教職員の理解や、生徒の相互理解の促進を図っていると思いませんか。	90%	6%	→				70%	6%	→	小中連携の取り組みが活発に行えた。	